

## ローコードツール「kintone」が アルペン全店舗の業務プラットフォームに採用

「Alpen TOKYO」のオープンに向けてシステムを内製化、開発期間もコストも大幅に削減

サイボウズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：青野慶久、以下「サイボウズ」）は、ローコードツール「kintone（キントーン）」が、株式会社アルペン（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：水野敦之、以下「アルペン」）のシステム内製化を推進する業務プラットフォームとして導入されたことを発表いたします。本導入にあたっては、ノーコード/ローコードでスピーディーにシステムを作成し、運用しながら機能改修ができる kintone の特徴を活用することで、内製化が促進され、短期間かつ低コストでシステムを構築することが可能になりました。

### ■kintone でシステムの内製化を進めるに至った背景

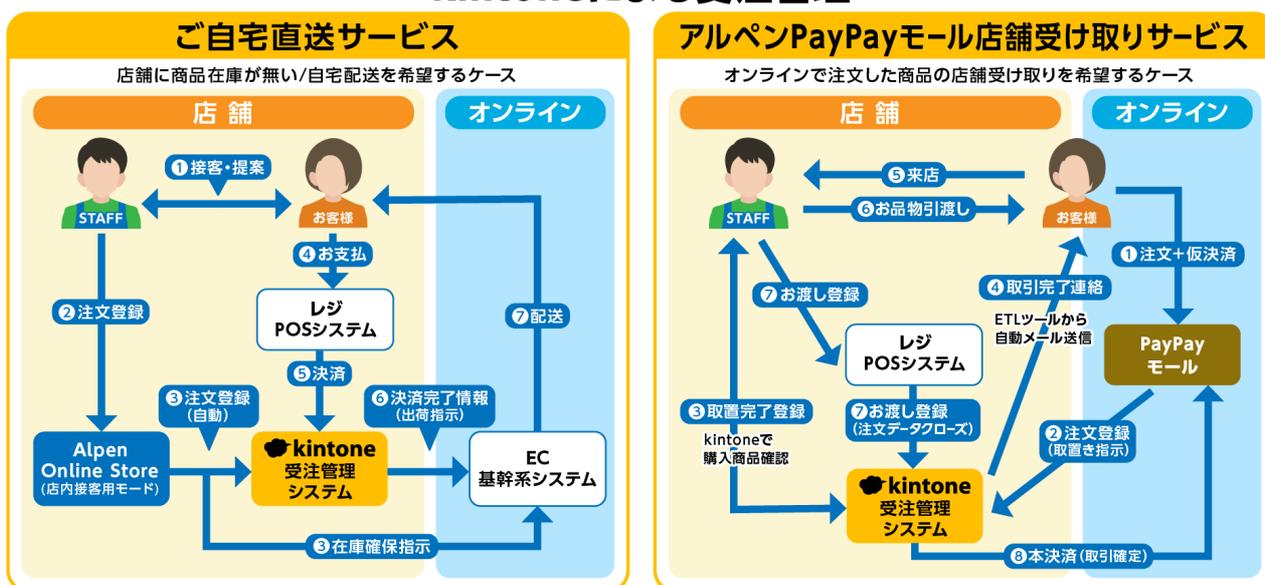
アルペンでは日々変化する事業環境やお客様のニーズに追従するための機動性と IT コスト最適化の両輪を目指して 2019 年から社内システムの内製化を進めており、2021 年には「ゴルフ 5 プレステージ\*」業態で、クラブフィッティングの結果や購買履歴、接客の記録といった全ての顧客情報を電子カルテ化し、日々の接客に活かすための CRM（Customer Relationship Management／顧客関係管理）システムを kintone で構築しました。この経験を通じて kintone を使用すれば多くのシステムを内製できることを確信し、システムのリプレースのタイミングや新規のシステム化要望が起案された際には、まずはそのシステムが kintone で代替／実現可能かを検討するようになりました。結果、現在では店舗で立ち上げる新たなサービスの大部分が、情報システム担当者による kintone の基本機能で内製構築されるまでに至りました。2022 年 2 月には OMO（Online Merges with Offline）施策の一環として、全国の店舗で使用する POS システムと EC 系基幹システムを繋ぐ受注管理システムを kintone で構築し、BOPIS（Buy Online Pick-up In Store）を実現しました。

\*アルペンが展開する日本最大級のゴルフ専門店「ゴルフ 5」から派生し、カスタムフィッティングを特徴とする業態。全国に 5 店舗を展開（2022 年 4 月時点）。

## ■POS システム、EC 基幹システムと kintone を連携し、予約購入品の自宅配送と EC サイトで購入した商品の店頭受け取りのシステムを構築

kintone を使用した受注管理システムでは、予約購入品の自宅受け取りの仕組みと、EC サイト（アルペン PayPay モール店）で購入した商品の店頭受け取りの仕組みをわずか 2 か月・5 人月程度で構築しました。

### kintoneによる受注管理



店頭での接客時、店舗に商品在庫が無い場合やお客様がご自宅への配送をご希望される場合に、スタッフが専用 EC サイトから注文登録すると、注文情報が kintone で構築した受注管理システムに連携され、それをレジ (POS システム) で呼び出してお客様が会計されます。代金のお支払い完了をもって、kintone から EC 系基幹システムに出荷指示データが送信されて商品がご自宅に配送されます。店頭で注文・お会計してご自宅で受け取るというお買い物の新たな形として多くのお客様にご利用いただいています。

一方、逆に EC サイトで注文した商品を店頭で受け取ることも可能で、アルペン PayPay モール店でお客様が注文登録をすると、商品情報が kintone に登録されて該当店舗の在庫が確保されます。お客様が来店された際に、あらかじめ kintone から発行された注文票をレジ (POS システム) で読み取るだけで、商品を受け取ることができます。将来的には別の仕組みで運営している自社 EC サイトからの店頭受け取りサービスも、アルペン PayPay モール店と同じように kintone を使った仕組みに統合していく計画です。このように、億単位のビッグデータを蓄積する基幹システムや 800 万人の顧客情報を取り扱う会員管理システムとの接続機能を外部に委託して構築し、kintone の標準機能をベースに作ったアプリに組み込むことで、数千万円かけてフルスクラッチで構築する様な従来の基幹システムとほぼ同等の機能を、低コスト・短納期で構築することを実現しました。

## ■kintone 活用の広がりと効果

kintone は、機能追加や変更が容易なため、運用開始時には必要な機能だけを実装してローンチし、実際の業務や希望に応じて順次システムや機能をアップデートしていくというアジャイル開発と非常に高い親和性を持ちます。そのため、アルペングループ史上最大の旗艦店「Alpen TOKYO」の2022年4月1日オープンに向けて、短期間で必要なシステムをkintoneで構築することができました。例えば、テニスラケットなどの加工工程を管理する加工管理システムを2週間程度でローンチした他、前出の「ゴルフ5プレステージ」をベースにした「ゴルフ5」向けのCRM構築、人事システムと連携したアルバイト採用システムなどを短期間で構築しました。



4月1日にグランドオープンした「Alpen TOKYO」の外観

また「Alpen TOKYO」オープンに向けたシステム開発以外にも、お客様が持ち込まれたアウトドア用品の品名や使用状態などから査定金額を算出する中古買取システムを情報システム部の担当者が、ほぼkintoneの基本機能のみで構想着手からわずか2か月でローンチしました。このようにkintoneでのシステム構築は、従来のスクラッチ開発に比べて短納期であるだけでなく、マウス操作を中心としたノーコードで簡単に構築できるため、外部のシステム会社への依頼が減り、店舗の従業員が接客時に使うシステム構築にかかる費用が半分以下に削減され、納期は1/3以下に短縮されました。

## ■今後の展望

現在アルペンでは、受注管理システムのようにkintoneから基幹システムや会員管理システムと接続する機能を準備することでその活用の幅を一気に広げ、新たに始めるサービスや事業で必要なシステム、業務を効率化するためのシステムまで、さまざまところでkintoneが活用されています。



また、kintone で作成したアプリを利用している業務部門から、更なる要望も生まれ、アジャイル開発によるシステムの段階的な強化が促進されています。今後は、現場の声にも応え、ビジネスの変化に合わせて柔軟に業務もシステムも変化できるよう、kintone を軸にしたビジネスそのものの加速、業務改善を目指しています。

### ■株式会社アルペン 執行役員 デジタル本部長 蒲山雅文氏のコメント

当社の IT 部門では、データ利活用や店舗従業員が操作するフロント系のシステムを中心に内製化を促進することで、IT 構築のみならずビジネスそのものをアジャイルシフトさせていくことを目標に掲げています。kintone は IT 構築の経験が無い担当者でも十分に扱える優れた操作性に加え、JavaScript による独自機能を組み込むことが可能なローコードツールとしての側面を併せ持つため、変化の速い小売業においても IT 開発が足かせにならず、むしろ加速させるドライバーにまで引き上げてくれる強力な武器になると考えています。店舗出身者で構成される当社 IT 部門の担当者が店舗での経験を活かしつつ、自分自身でシステムを構築し、店舗の従業員からダイレクトに反応を得られるという好循環を回していくことで、今後も当社ならではの DX 実現を目指していきたいと思っています。

### ■kintone とは

製品サイト：<https://kintone.cybozu.co.jp/>

サイボウズ株式会社が提供する、業務アプリ開発プラットフォームです。営業の案件管理、お客様からの問い合わせ履歴やクレーム対応の管理、プロジェクトの進捗やタスク管理、従業員の業務日報など、お客様の用途に合わせた業務アプリの作成が可能です。アプリケーションはノンプログラミングで開発できます。また、社内 SNS のようなコミュニケーション機能を活用することでスピーディーな情報共有が可能になり、業務効率化を実現します。

---

報道関係者様からのお問い合わせ先

サイボウズ株式会社 ビジネスマーケティング本部：恵良、山見  
〒103-6027 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー 27 階  
TEL: 03-4306-0803 / MAIL: [pr@cybozu.co.jp](mailto:pr@cybozu.co.jp)

---

※商標・著作権表示に関する注記については、こちらをご参照下さい。

<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>